



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度

国際ロータリーのテーマ

地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度

RI会長 レイ・クリンギンスミス

創立：1980年(昭和55年)1月10日
 会長：田中 隆義
 幹事：加納 裕
 クラブ委員長：梅村 昌孝
 例会日：毎週木曜日 PM12:30～
 会場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008

名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号

T E L：052-211-3803

F A X：052-211-2623

M A I L：2760nagoya@mizuho-rc.jp

U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

第1482回例会

～ロータリー財団月間～
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年11月18日(木) 晴 第19回

司 会：佐藤一郎会場委員

斉 唱：「それでこそロータリー」「四つのテスト」

会長挨拶

田中隆義会長

皆さんこんにちは。今日は11月の第3木曜日で、ボジョレ・ヌーボーの解禁日です。今夜は名古屋瑞穂RC恒例の「ボジョレ・ヌーボーを楽しむ会」が開催されます。皆様ご存知のように、ボジョレ・ヌーボー(B・N)はフランスのボジョレ地方で収穫されたばかりのブドウから造った新酒で、地元農民が収穫を祝って飲んだのが始まりとのこと。その年のブドウの出来映えをチェックすることを主な目的とした特産品の新酒がB・Nです。「ボジョレ」と名乗ることができるワインは赤ワインであればガメ種、白ワインであればシャルドネ種を使用したものに限定されています。しかし白ワインは全体の1%にすぎないと言われています。したがってB・Nは赤とロゼで白はありません。B・Nはボジョレの通常の赤ワインとは異なり、試飲酒のため通常のワインができあがるより早く試飲できれば意味がありません。そのためにB・Nはブドウを収穫したら速く醸造してボトルへ詰め、収穫したその年の11月に出荷を済ませる軽い仕上りの赤ワインです。詳しいことは増田直前会長に教えていただきたいと思います。炭酸ガス浸漬法といってブドウの房をまるごとタンクに入れ密封し、二酸化炭素にさらし数週間で醸造する方法だそうです。B・Nは1968年から本格的な輸出が始まり、当初の解禁日は11月15日でしたが、土曜日曜にあたりと輸送がスムーズに進まなくなるため、1984年から11月の第3木曜日に改められました。解禁日が設けられた理由はB・Nがよく売れるということで各メーカーが早く出荷しようと競い合いだんだんエスカレートして、ついにはワインとして十分できあがっていないのにワインとして出回るようになってしまったからとのこと。



以前、禁煙の勧めの話をいたしました。酒飲みには都合のいいデータを見つけたのでご紹介します。オランダのStreppel博士らは40年間の調査結果を2009年に発表しています。それによるとアルコールはいずれの種類であっても毎日少量(最大20g)であれば長期のアルコール飲酒者は非飲酒者と比べて平均余命が約2年延長し、それに対し20g以上の飲酒者は平均余命の増加の程度がわずかに少なかったと報告されています。また、ワインだけを1日にグラス半分ほど飲む男性は、ビールと蒸留酒を飲む男性と比べて約2.5年長生きし、非飲酒者と比べると約5年長生きしており、ワインの摂取は脳血管疾患などすべての原因による

死亡リスクの低下と強く関連していたと報告されています。やはり、アルコール少量がミソのようですが、これが呑み助にとっては難題かと思います。ともあれ、今夜は皆さんとB・Nを飲みすぎないように楽しみたいと思います。

出席報告

亀井直人出席委員長

会員66名 出席50名(出席計算人数53名)

出席率 82.0%

11月11日は補填により 90.2%

ニコボックス

亀井直人ニコボックス委員長

- ・30周年記念式典、祝賀会のご招待ありがとうございました。

館 まち歌さん

- ・泉さん、鈴木さん、いろいろお世話になりました。泉さん次回はリベンジしましょう。

堀 慎治さん

- ・高村さん、泉さん、堀さん、今週はお世話になりました。ありがとうございました。

鈴木 淑久さん

- ・先日、吉木先生にお世話になりました。

増田 盛英さん

- ・松波先生、娘がお世話になりました。鈴木淑久さん、先日はお世話になりました。

亀井 直人さん

幹事報告

加納 裕幹事

- ・本日13時40分よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて第2回長期ビジョン委員会を開催致します。
- ・同じく本日18時より「トラットリア・トベ」において歴代幹事とヴォジョレ・ヌーボーを楽しむ会を開催致します。
- ・11月25日(木)13時40分よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて指名委員会を開催致します。
- ・奄美地方豪雨災害義援金をニコボックスより65,000円拠出致しました。
- ・11月20日(土)21日(日)に地区大会が開催されます。本日メールボックスに名札等が入っておりますので当日お忘れのないようよろしくお願い致します。

卓話

西沢功晋さん

新入会員イニシエーションスピーチ



皆さんこんにちは。SMBCフレンド証券の西沢と申します。

私は1965年3月26日生まれの45歳で血液型はO型です。家族は妻と先日6歳になった娘、そして名古屋に引っ越してきてから飼った8ヶ月のトイプードルです。引っ越しのたび友達と離ればなれになり淋しい思いをしている娘の希望で飼いはじめました。

出身は群馬県渋川市です。渋川市と聞いてもわからないかと思いますが、伊香保温泉の窓口と言えばご存知の方もみえるかもしれません。ある全国区の新聞に「最も印象が薄い県」ということで群馬県が一位に選ばれたと書いてありました。そんな印象の薄い群馬県を少しご紹介いたします。群馬県の人口は210万人で県庁所在地は前橋市です。四方を栃木・埼玉・福島・長野・新潟に囲まれており日本では数少ない海のない県です。海がないため海産物に非常に関心が高く、焼き肉を食べにいくより寿司を食べに行きたいと答える方が多い県民性です。また、ねぎ・こんにゃく・キャベツの産地であり、伊香保や草津・水上・四万など有名な温泉地も数多くあります。伊香保温泉の入り口にある水沢うどんもかなり有名で、讃岐うどんや稲庭うどんと並んで日本三大うどんと呼ばれております。1杯800円で私から見ると非常に高いですが、週末になるとお店は観光客でかなり混み合っています。愛知県に味噌煮込みうどんがあるように群馬県にもおっきこみうどんというものがあります。醤油ベースの汁に野菜ときのこと鶏肉を入れて煮込んだもので、栄養満載のこのうどんを群馬県民は好んでよく食べます。そして私が一番好きな地元のフードは「焼きまんじゅう」です。ふかしたまんじゅうに甘い味噌を塗って焼いたもので、あんこが入っているものと入っていないものがありますが私は入っていない方が好きです。また、戦後群馬県からは4人の内閣総理大臣を輩出しており、福田赳夫さん、中曽根康弘さん、小渕恵三さん、福田康夫さんと保守が強い県民性でもあります。また競馬、競輪、競艇、オートといったすべてのギャンブル施設があり、賭け事も好きな県民性です。皆さんよく耳にされる「かかあ天下」は群馬から生まれた言葉ですがこれは決して妻の気が強いとか性格がきついということではなく「内助の功でよく働く」という意味ですので使い方を間違えないようご注意ください。また「上毛かるた」というカルタがあり、これには県をあげて取り組んでいます。上毛かるたには個人戦と3人1組の団体戦があり、群馬県の全小学校の行事に取り組まれています。そして村、町、市とそれぞれ大会があり、最後は県大会で優勝を決定します。内容は群馬県の郷土、歴史、人物、地域に因んだもので、私も小学校4、5、6年生の時は市で優勝し県大会まで進みました。

私は渋川市で小学校、中学校、高校と進み、大学受験では学校推薦をもらいましたがそれを蹴って一般受験で7校受験しました。しかしものの見事に全て落ち、その後一浪して中央大学に進学しました。大学時代は、アルバイトや麻雀、パチンコ、ツーリングが印象に残っています。今と違い就職口は引く手あまたの状態で、5月には内定をいただきました。数ある証券会社の中から、同じ群馬県の出身で「ほうれんそうが会社を強くする」という本を書いた山崎富治社長に非常に好感を持ったため、昭和63年4月、当時の山種証券に就職しました。最初は地元の渋川支店で7年、その後埼玉の大宮支店で6年、東京の池袋支店で4年、本社の日本橋本店で2年、北海道の帯広支店で3年、そして今年の4月に名古屋の新瑞橋に配属となりました。

帯広勤務の際に北海道の大自然に触れたことは私の人生にとって非常に得るものが多かったように思います。特に心に残っているのは知床と大雪山で、もしまだ行かれたことがない方がみえましたら一度行ってみる価値はあると思います。帯広では物価や文化の違いにも驚かされましたが一番強烈に違いを感じたのはやはり冬の寒さです。2月のある日、朝6時半に家を出て徒歩15分の距離にある会社へ向かう途中、目がやけにチカチカすると思ったらダイヤモンドダストでした。ダイヤモンドダストはマイナス20度以下で起こる現象で、国内では北海道でしか見ることができません。北海道旅行という夏に行く方が多いと思いますが、

本当の北海道を知りたい方は2月頃に行って、寒さや痛さを体感されるのも良いかと思います。

名古屋に転勤となり嬉しいのは、もともと私の趣味でもあったお城や寺院が近郊にたくさんあることです。家族と一緒にまわろうと何度か計画を立てましたが、妻と娘に反対されいつも週末はイオンにばかり行っております。仕事上2～3年毎に転勤をしており、幸いにもそのたび家族がついてきてくれるのが嬉しいのですが、来年娘が小学校に入学するのを機会に先日埼玉県にマンションを購入しました。来年の3月からはこちらで単身赴任ということになります。家族と離ればなれになるので淋しくなりますが、今までできなかった週末のお城や寺院巡りを思う存分満喫したいと思います。ここは押さえておいた方が良いというところがありましたら是非教えて下さい。ちなみに今すぐにでも訪れたいと思っているのは、犬山城と彦根城です。また世界遺産に指定された白川郷や三大名湯の一つである下呂温泉にも行きたいです。

次に、私が勤務しているSMBCフレンド証券についてお話させていただきます。SMBCフレンド証券は私が入社した山種証券、昔の太陽神戸銀行の系列であった神栄石野証券、住友銀行系列の明光証券、パナソニックの子会社であったナショナル証券、住友生命系列の泉証券の5社が合併してできた証券会社で三井住友フィナンシャルグループの100%出資の証券会社です。弊社は個人のお客様を中心とする対面営業の証券会社としてお客様の立場に立ってより一層質の高い商品、サービスを提供しお客様の大切な資産を運用するお手伝いをするを最も重要な役割と考えております。親会社が日興証券を傘下にしたことによりこの先どうなるんだろうという不安も残りますし次はどこへ行くのかと転勤の時期になると非常に不安を感じます。しかし、その地方地方で様々な歴史や文化に触れることやおいしいものを食べられることもサラリーマンの特権だと思っておりますので、転勤になったらまたそこで楽しみたいと思っております。

最後になりますが私が心打たれた言葉を紹介させてください。「心が変われば態度が変わる。態度が変われば行動が変わる。行動が変われば習慣が変わる。習慣が変われば人格が変わる。人格が変われば運命が変わる。運命が変われば人生が変わる。」もとはインドのヒンズー教の教えですが私はその通りだと思いました。意識が変わることで毎日の仕事観が変わり、その社員の行動が変わり、行動が変わった社員は高く評価され、個人やお店の成績が良くなり、給与や賞与が変わることによりその社員の運命が変わります。私は社員の意識を変えていけたらと思い毎朝ミーティングを行っています。そのミーティングでは厳しいことを言うこともあります。考え方が取り組み方になるのであれば、しっかりした考え方を身につけ正しい方向に歩んでもらいたいと思っています。

以上で卓話を終わります。ありがとうございました。

例会のご案内

■今週の卓話 11月25日(木)

卓話講師：ラフィネ華芸術アカデミー
ラフィネフローラルソサエティ代表
山田喜代子さん
テーマ：「華メソッド」丹田呼吸法について

■次週の行事 12月2日(木)

第3回クラブフォーラム(年次総会)

■次々週行事 12月9日(木) クリスマス家族会

場所：ヒルトン名古屋4階「竹園の間」